

教育委員会 平成21年度12月定例会会議録

平成21年12月16日（水）第3分庁舎 講堂

9：34開会、9：48閉会

出席委員 仲村委員長、林委員、藤原委員、山田委員、熊代教育長

傍聴者 5人

（会議経過）

仲村委員長

定足数に達したので委員会は成立した。これより12月定例会を開会する。

本日の会議録署名委員を林委員にお願いする。

<日程第1 報告事項>

1 部長報告

教育総務部長

平成21年市議会12月定例会の報告については、後日の当委員会にてご報告するが、本日は、先の教育委員会でご協議いただいた「小中一貫教育の推進について」、文教常任委員会で報告いたしましたので、その質疑・意見の内容についてご報告する。神奈川ネットワーク運動・鎌倉の石川敦子議員から小中一貫教育の検討を始めた時期や経緯について、今の小中連携に課題があるのか、学力向上を中心に進めるのか、ソフト面での一貫教育は課題が多いと聞くがどうか、目指す子ども像とは何か、との質問があり、学区ごとにと組の差が出ないようにしてほしい、という意見があった。公明党鎌倉市議会議員団の納所輝次議員から、教職員の共通理解のための研修、地域のサポートなど多忙化している学校への支援体制などが必要である、メリット・デメリットを考えて進めてほしい、という意見があった。鎌倉無所属の会の高橋浩司議員から、積極的に進めてほしいとの意見とともに、中高一貫の検討、大船中と大船小の合築の検討状況についての質問があった。日本共産党鎌倉市議会議員団の小田島敏浩議員から、方向性はよいが9年間を見通した教育の中で、人事異動によって教員の達成感が損なわれないように、経験を生かせるように、という意見があった。以上の質疑・意見があり、結果、小中一貫教育の推進については、全委員に了承された。

2 課長等報告

学務課長

議事日程には記載していないが、手元にインフルエンザの状況を配布しましたので、少しご報告させていただく。お手元の資料をご参照いただきたい。この資料は、昨日 12 月 15 日、午後 5 時までに、各小中学校から私ども学務課へ報告されている件数をまとめたものである。まず、9 月 1 日から 12 月 15 日までのインフルエンザによる出席停止者として報告されている件数であるが、小学校 2,267 名、中学校 802 名、計 3,069 名である。比率的には全児童生徒数の 28% 近くが、インフルエンザに感染したという状況である。次に学級閉鎖等の状況であるが、本日の状況は、小中学校合わせて 9 校で 22 学級が学級閉鎖をしている。また、小中学校合わせて 3 校 3 学年で学年閉鎖を実施している。また、9 月以降の「延べ」の学級閉鎖等の状況は資料のとおりである。次に予防接種の状況ですが、小学生低学年、1～3 年生までについては、12 月 13 日から学校を会場とした接種が開始されており、小学校の高学年につきまして 1 月 10 日から開始する準備を行っている状況である。なお、中学生については、現在、鎌倉市医師会がどのような方法で行うか、ワクチンの供給量を考えながら、時期はいつごろから行うかなどを検討している。詳細が分かり次第、学校を通じて保護者にお知らせしたいと考えている。

仲村委員長

一部の報道によると、インフルエンザは下火になってきたと言われているが鎌倉市はどうか。

学務課長

先週くらいの状況で言うと、毎日何校か学級閉鎖等を行っていたが、先週の水曜日ごろからはほとんどない状況である。今週も学級閉鎖はあったが、全体的には一時ほどの状況は沈静化しつつあり、小康状態が続いている。今後予防接種等が進んでいけば、感染者が減ると思われる。

仲村委員長

授業数が減っているということで、自治体によっては冬休みを短縮するところもあるようだが、鎌倉市はどうか。

教育指導課長

冬季休業については、学校管理運営規則に定められており、2 学期の終業式の日、3 学期の始業式の日が定められている。そのため、規則を改正しないと冬休みは授業数としてカウントできない状況である。現在、学校の対応策としては、聞き取りの中で把握している

範囲ではあるが、小学校が台風の関係で給食を提供できなかった日の分を、12月に1日給食を提供し、6時間目まで授業をすることで3時間授業数を確保した。また、中学校は5時間の日を6時間、6時間の日を7時間というように対応している。小学校についても、5時間のところを6時間として、週28時間の授業のところを、3学期は週29時間、毎週1時間多くする。また、45分授業を60分授業するなどして、校長会で調整している。

仲村委員長

授業時数全てをカバーはできないということか。

教育指導課長

授業時数というのは、標準授業時数というかたちで、年度当初に学習指導要領の中で設定しているものがあるが、学校としては、中学校であれば年間980時間あるが、もう少し多く設定をしているため、今のところ10日間程度の学級閉鎖であるとカバーができていく状況である。ただ、3学期になると季節性のインフルエンザ等の流行も予想されるため、各学校では早めに対応を取っている。2週間授業が止まってしまうと学習の積み上げ、繰り返しもできなくなるため、プリント学習も行いながら履修漏れの無いようにしている。

仲村委員長

最長3週間くらい全く学校に来ないというクラスもあるのか。最長どのくらい休んでいるのか。

学務課長

連続してとなると、2週間くらい学級閉鎖をした学校もあるが、連休を挟む場合もあり、大体10日間くらいである。

熊代教育長

今指導課長から話があったが、現状では授業数が不足して履修漏れが出る心配は全く無い。これから3学期になり、インフルエンザがもっと流行すると多少危なくなるが、年間を通じて多めに授業時間を設定しているため、その心配はない。教科書が終わらないまま卒業するようなことがないように、今は懸命に色々工夫しながら授業時間の確保を各学校行っているため、教育委員会としては学校の対応を見守りたい。

(報告事項はそれぞれ了承された)

仲村委員長

以上で本日の日程はすべて終了した。12月定例会を閉会する。